

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○新しい価値と可能性を追求する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる

【学校 目標】

○主体的に学び続け、自分の成長を実感できる子どもの育成

【現状と課題】

- 視点1 思考力に課題があり、指示は素直に受け入れられるが、自分の考えを持つことが難しい。
- 視点2 間違いを恐れ、積極的にチャレンジできない。
- 視点3 放課後等の時間に余裕がなく、授業についての情報交換が後回しになっている。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○子どもが主体的に学べる授業展開になるよう工夫する。	年間を通して、一人につき一授業を公開し、授業にかかる交流会を開催する。		
	学校評価(教職員)「主体的・対話的で深い学び」評価2.1(R4 2.0)以上		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○思いやりの心を育む教育を推進し、お互いを認め合い、安心して自分の思いを表現できる学級経営に努める。	学校評価(教職員)「道德教育の充実」評価2.4(R4 2.2)以上		
	学校評価(教職員)「主体的・対話的で深い学び」「1支持的風土を育てる学級・学年集団づくりの実践に努めた」評価2.2(R4 2.1)以上		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○OJT推進リーダーを中心に、研修や相談の場を設け、経験年数の長い教員の指導技術を若手教員へ継承する等、指導力向上を目指す。	時期に応じた内容で、年間30時間以上OJT研修会を開催する。		
	学校評価(教職員)「指導改善(組織的・計画的)」評価2.3(R4 2.2)以上		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ①年間を通して、参観授業や交流会を通して話題になった内容や取り組みを交流する。
 - ②委員会やクラブ活動、学活、総合的な学習の時間を児童の主体的な活動にする。
 - ③必要性の低い取り組みは継続を検討し、授業についての情報交換ができる時間を生み出す。
 - ④一人一授業公開を実施し、他の教員の授業を見る機会を増やす。
 - ⑤OJT研修を活発化させる。
 - ⑥個別最適化についての研修、研究授業を実施する。
 - ⑦扉を開けておき、板書をはじめ、授業について廊下から若手教員が学べるようにする。
- さらに、夏季休業中に、市教委指導主事を招聘した学力向上研修を開催し、全国学力学習状況調査から読み取れる本校の課題や経年変化等を基に、各学年で授業改善についての協議を行う。一方、ICT活用については、随時担当より活用例を発信することで学校全体のICT活用を推進する。毎日10分間の読書タイムを新設し、読書活動の充実を図る。

今年度の取組の成果と課題

--